

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022年10月31日

新明和工業株式会社

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

2023年3月期 第2四半期 連結決算実績

- ※ 当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。
- ※ 当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「2Q」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

(単位：百万円)

	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減 (増減率)
受注高	119,992	133,910	+ 13,917 (+ 11.6%)
売上高	100,264	104,001	+ 3,737 (+ 3.7%)
営業利益	4,438	3,206	△1,232 (△27.8%)
経常利益	4,698	4,168	△530 (△11.3%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,362	2,871	△490 (△14.6%)
受注残高	182,858	243,764	+ 60,906 (+ 33.3%)
為替レート (1USドル)	110.0円	132.5円	

前年同期比

受注高

- 「産機・環境システム」が大幅増となるなど、「特装車」「その他」を除く全てのセグメントが増加した結果、全体では増加
- 2Qとしては過去最高

売上高

- 「特装車」「その他」を除く全てのセグメントが増収となり、全体では増収

利益

- 円安効果はあるも、鋼材価格の上昇等により、減益

2023年3月期 第2四半期 連結決算実績 セグメント別

(単位：億円)

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減
特装車	577	570	△6	483	437	△46	35	7	△28
パーキングシステム	190	206	+ 16	178	183	+ 5	19	11	△7
産機・環境システム	142	241	+ 99	101	154	+ 52	2	12	+ 10
流体	105	138	+ 33	62	87	+ 24	△0	3	+ 3
航空機	93	98	+ 5	101	115	+ 13	△4	7	+ 11
その他	91	82	△8	75	63	△12	4	3	△0
調整額	—	—	—	—	—	—	△12	△13	△1
合計	1,199	1,339	+ 139	1,002	1,040	+ 37	44	32	△12

※ 23.3期1Qより報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

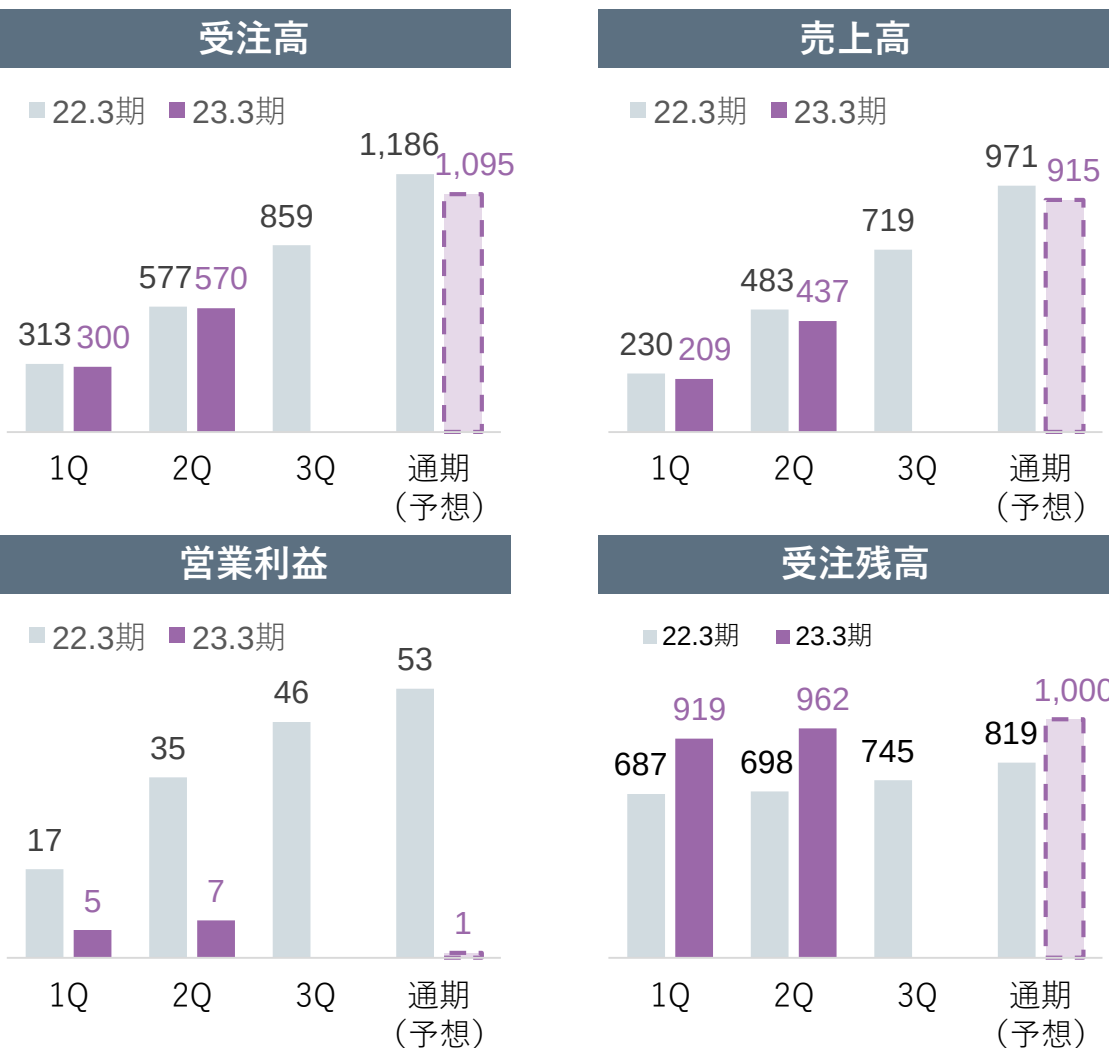
	22.3期末	23.3期 2Q末	増減
現預金	26,600	17,239	△9,361
売上債権	70,945	72,768	+ 1,823
棚卸資産	46,925	52,610	+ 5,685
有形・無形固定資産	45,306	45,319	+ 13
その他資産	31,429	33,181	+ 1,751
資産合計	221,206	221,118	△87
買入債務	25,898	26,237	+ 338
有利子負債	52,254	54,860	+ 2,605
その他負債	48,792	42,940	△5,851
負債合計	126,945	124,038	△2,907
自己資本	92,465	95,434	+ 2,969
その他純資産	1,795	1,646	△149
純資産合計	94,261	97,080	+ 2,819
負債・純資産合計	221,206	221,118	△87
自己資本比率	41.8%	43.2%	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,092	△6,137	△5,044
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,507	△4,074	△567
フリー・ キャッシュ・フロー	△4,599	△10,211	△5,611
財務活動による キャッシュ・フロー	△62	△121	△59

業績推移 (単位：億円)



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

- 建設関連車両、物流関連車両の減少

売上高

- 建設関連車両、物流関連車両、環境関連車両の減少

営業利益

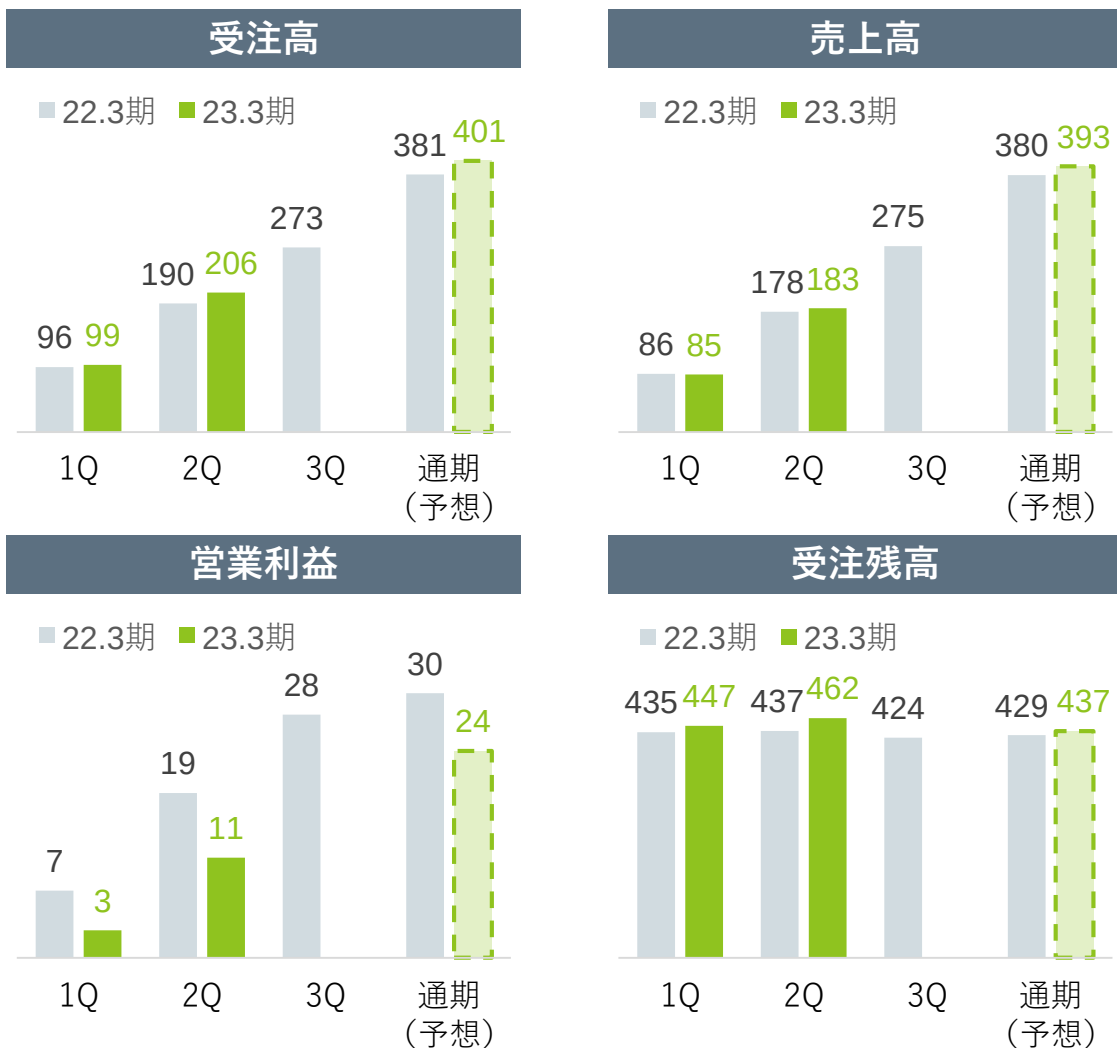
- 減収による減益
- 鋼材価格の上昇等による減益

受注残高の手持日数推移 (単位：カ月) ※

22.3期				23.3期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)
8.9	8.7	9.3	10.1	13.2	13.2		13.1

※受注～売上の平均期間、受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出

業績推移 (単位：億円)



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

機械式駐車設備：製品（二・多段方式の新設）の増加
航空旅客搭乗橋：国内、海外ともに増加

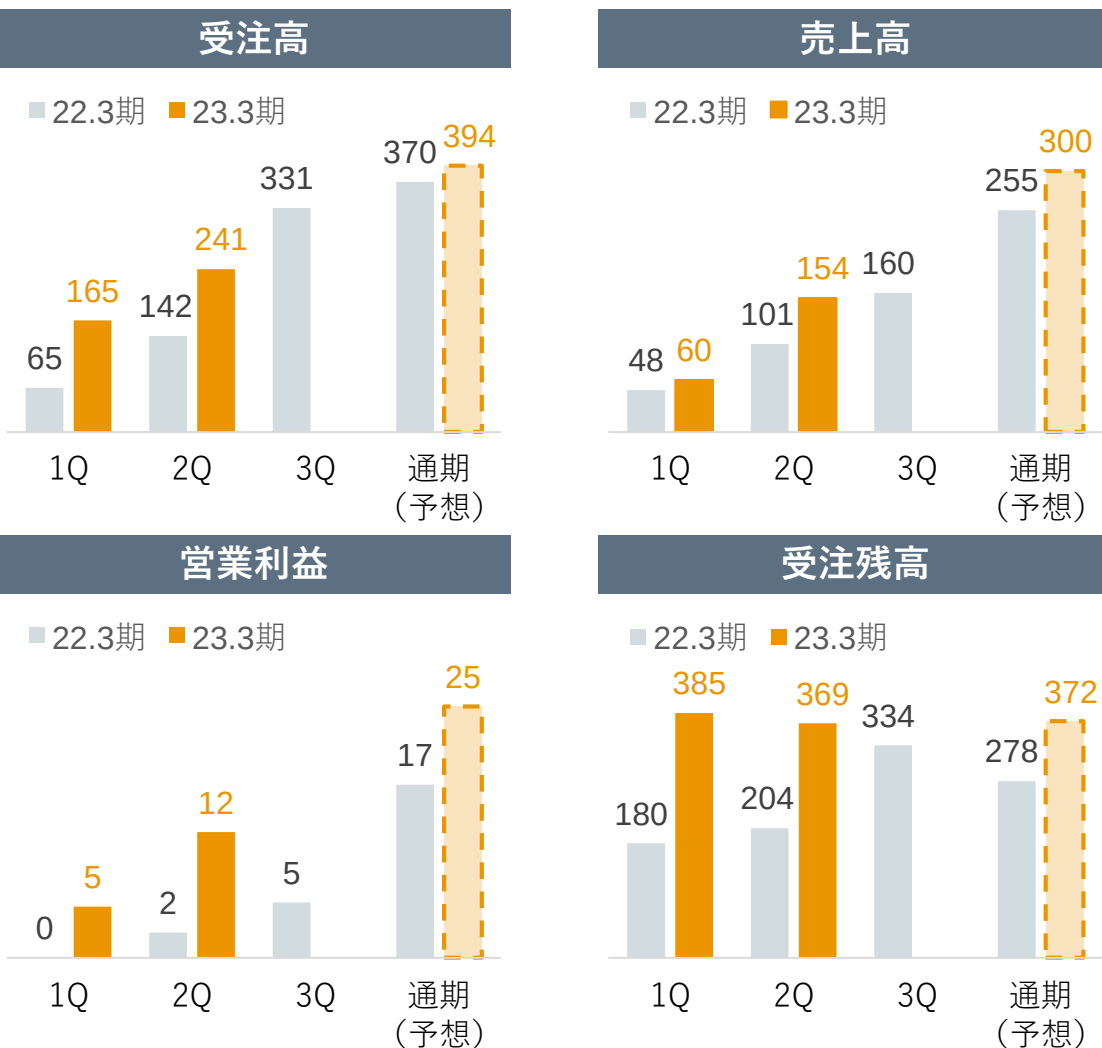
売上高

機械式駐車設備：改修修理の減収
航空旅客搭乗橋：国内、海外ともに増加

営業利益

機械式駐車設備：改修修理の減収による減益
航空旅客搭乗橋：増収による増益

業績推移 (単位：億円)



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

メカトロニクス製品：真空製品の増加
環境関連事業：プラント案件およびサービス事業の増加

売上高

メカトロニクス製品：真空製品の増加
環境関連事業：プラント案件の増加

営業利益

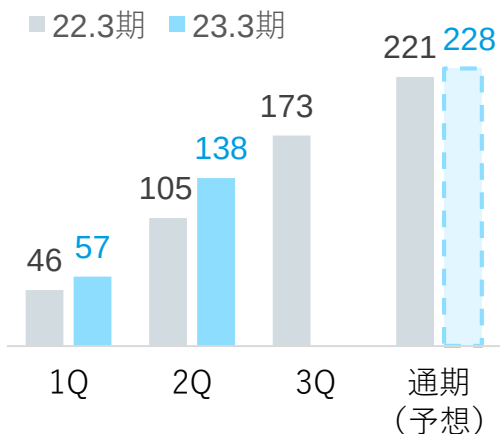
メカトロニクス製品：増収による増益
環境関連事業：工事損失引当金の増加による減益

サブセグメント別 受注高・売上高推移 (単位：億円)

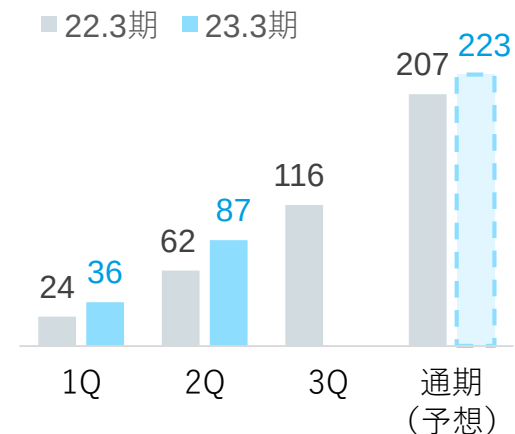
サブセグメント		22.3期				23.3期			
		1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期(予想)
メカトロニクス製品	受注高	30	77	130	166	125	163		251
	売上高	33	68	108	159	44	117		201
環境関連事業	受注高	34	65	200	204	39	77		143
	売上高	15	32	51	95	16	36		99

業績推移 (単位：億円)

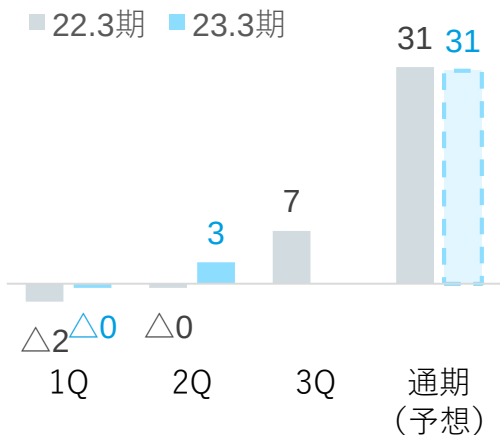
受注高



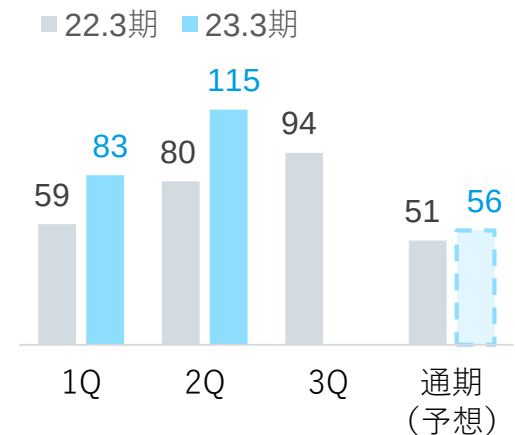
売上高



営業利益



受注残高



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

- 前期に実施したM&A効果による増加
- 国内官需、国内民需、海外関連の増加

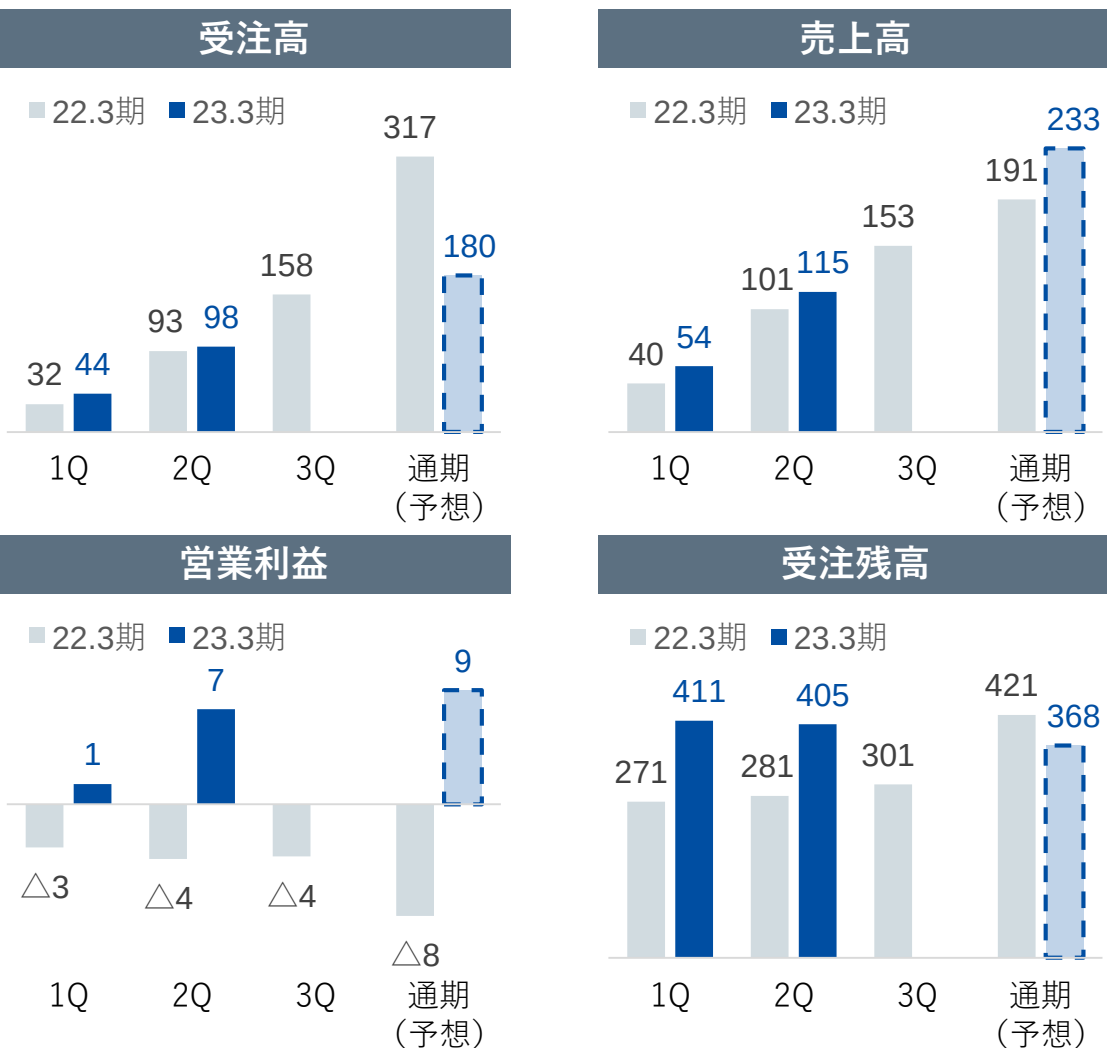
売上高

- 前期に実施したM&A効果による増収
- 受注増に伴う増収

営業利益

- 前期に実施したM&A効果による増益
- 増収による増益

業績推移 (単位：億円)



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネント等の減少
民需関連：「G7500」受注機数増加

売上高

防衛省向け：前年同期並みの水準
民需関連：「777/777X」「G7500」生産機数増加
為替の円安による増収

営業利益

原価低減および為替の円安等による増益

民需関連 生産機数

(単位：機)

	22.3期 2Q	23.3期 2Q
777/777X	10	14
787	20	11
G7500	15	21

為替感応度 (公表日以降)

1円/USドルの円安進行で
約0.4億円の営業利益増

2023年3月期 連結業績予想

2023年3月期 連結業績予想 サマリー

(単位：百万円)

	22.3期 実績	23.3期 予想		増減（増減率）			
		7月公表	10月公表	前期比		7月公表比	
受注高	263,163	234,300	245,600	△17,563	（△6.7%）	+ 11,300	（+ 4.8%）
売上高	216,823	225,000	222,000	+ 5,176	（+ 2.4%）	△3,000	（△1.3%）
営業利益	10,569	9,000	7,000	△3,569	（△33.8%）	△2,000	（△22.2%）
経常利益	11,821	9,200	8,200	△3,621	（△30.6%）	△1,000	（△10.9%）
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,907	6,000	5,600	△1,307	（△18.9%）	△400	（△6.7%）
受注残高	210,338	219,638	233,938	+ 23,600	（+ 11.2%）	+ 14,300	（+ 6.5%）
1株当たり年間配当金	42円	42円	42円	—		—	
配当性向	40.0%	46.1%	49.4%	+ 9.4pt		+ 3.3pt	
為替レート （1USドル）	111.9円	130.0円	135.0円※				

※ 10月公表の為替レートについては、10月以降の前提レートを表示しています。

前期比

受注高

- 「航空機」「特装車」セグメントで減少し、全体でも減少となる見込み

売上高

- 「特装車」「その他」を除く全てのセグメントで増収となり、全体でも増収となる見込み

利益

- 円安効果を見込むも、鋼材価格の高騰等により、減益となる見込み

(参考) 中期経営計画[SG-2023] 業績目標

(単位：百万円)

	24.3期 (目標)
売上高	250,000
営業利益	15,000

セグメント	予想	事業環境（見通し）
特装車		➤ 需要は堅調であるが、主要部品調達遅れ等に伴う生産活動の停滞は想定より時間を要する見通しとなり、年度末の受注残高は前期末の1.2倍にまで膨らむ見込み。 ➤ 鋼材価格等の高騰は、想定を超えて推移。直近では一部の原材料では下落傾向も見られるが、主要材料は2023年度前半までは上げ基調が続き、後半以降もそのまま高止まりが続くと想定。 ➤ 今期から実施した価格改定は、受注では一定の成果がみられるも、前期末時点で10ヵ月を超える旧価格の受注残高（セグメント全体）を保有しているため、売上に反映されるにはタイムラグがあり、今期の増益効果は限定的。
パーキングシステム		➤ 機械式駐車設備の製品事業は、受注は堅調に推移。鋼材価格等の高騰に対し価格改定を実施。 ➤ 収益の柱であるサービス事業は、受注は堅調であるものの、半導体不足に伴う電気部品の長納期化により、売上が減少する見通し。 ➤ 空港設備の航空旅客搭乗橋事業は、東南アジアにおける市場環境回復が2023年度以降となる見通し。
産機・環境システム		➤ 自動電線処理機の需要は復調傾向。長期的には、CASEの進展に伴い、ワイヤーハーネスの需要も今後右肩上がりに増加する見通し。 ➤ 韓国真空株式会社が製造する、EV用リチウムイオン二次電池向け真空乾燥装置は、車載電池市場の急速な拡大に伴い引き合い数も増加傾向。 ➤ 環境関連事業は、プラント案件の需要が堅調。これに伴うストック事業の増加もセグメント業績を下支え。
流体		➤ 国内官需関連は豪雨・浸水対策分野が伸長、リニューアル&サービス分野と共に底堅く推移する見通し。 ➤ 国内民需関連はカーボンニュートラルに向けた設備投資が活況でターボブロワ等の販売が増加。 ➤ 海外関連はコロナ沈静化による市場回復と昨年度連結子会社化したTurboMAX Co., Ltd.の業績が寄与し、受注が増加。
航空機		➤ 防衛省向けは、US-2型救難飛行艇（9号機）を製造中。 ➤ 民需関連は、中大型機市場の回復が、2023年度以降となる見通し。 ➤ 為替レート(USドル)の円安効果に加え、近年の原価低減と固定費圧縮努力が奏功し、3年ぶりに黒字化する見通し。

2023年3月期 連結業績予想 セグメント別（前期比）

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	22.3期 （実績）	23.3期 （予想）	増減	22.3期 （実績）	23.3期 （予想）	増減	22.3期 （実績）	23.3期 （予想）	増減
特装車	1,186	1,095	△91	971	915	△56	53	1	△52
パーキングシステム	381	401	+ 19	380	393	+ 12	30	24	△6
産機・環境システム	370	394	+ 23	255	300	+ 44	17	25	+ 7
流体	221	228	+ 6	207	223	+ 15	31	31	△0
航空機	317	180	△137	191	233	+ 41	△8	9	+ 17
その他	154	158	+ 3	160	156	△4	9	10	+ 0
調整額	—	—	—	—	—	—	△28	△30	△1
合計	2,631	2,456	△175	2,168	2,220	+ 51	105	70	△35

※ 23.3期1Qより報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。

2023年3月期 連結業績予想 セグメント別（7月公表比）

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	23.3期 (7月公表)	23.3期 (10月公表)	増減	23.3期 (7月公表)	23.3期 (10月公表)	増減	23.3期 (7月公表)	23.3期 (10月公表)	増減
特装車	1,060	1,095	+ 35	930	915	△15	16	1	△15
パーキングシステム	433	401	△32	405	393	△12	33	24	△9
産機・環境システム	280	394	+ 114	295	300	+ 5	22	25	+ 3
流体	235	228	△7	225	223	△2	32	31	△1
航空機	163	180	+ 17	225	233	+ 8	5	9	+ 4
その他	172	158	△14	170	156	△14	11	10	△1
調整額	—	—	—	—	—	—	△29	△30	△1
合計	2,343	2,456	+ 113	2,250	2,220	△30	90	70	△20

※ 23.3期1Qより報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。

補足資料

商号	新明和工業株式会社
本社	兵庫県宝塚市新明和町1-1
設立	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
代表者	取締役社長 五十川 龍之（いそがわ たつゆき）
従業員数	連結 5,934名 単体3,017名（2022年9月末現在）
連結子会社	30社

セグメント別 売上高 構成比 (22.3期)

航空機



その他

特装車



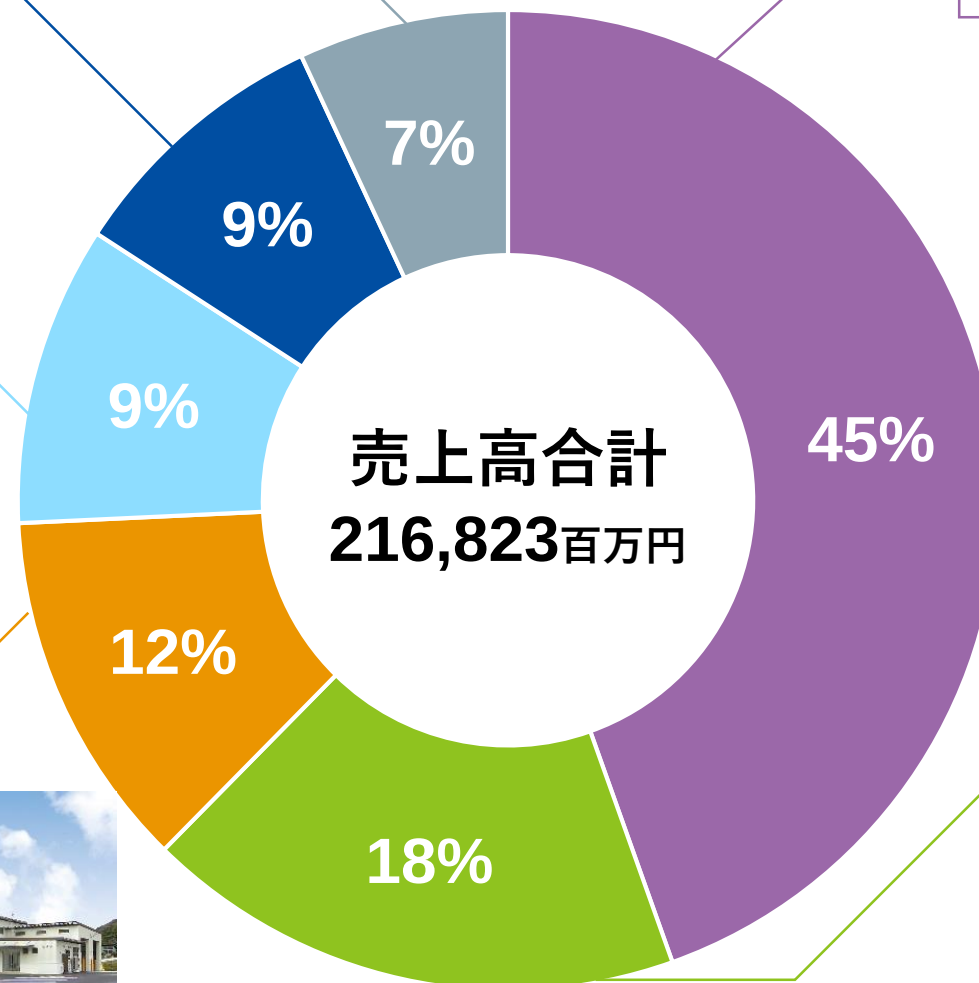
流体



産機・環境システム



パーキングシステム



(単位：億円)

	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期
受注高	1,652	2,148	2,039	2,100	2,097	2,305	2,379	2,218	1,993	2,631
売上高	1,509	1,740	1,931	2,039	2,012	2,073	2,172	2,272	2,092	2,168
営業利益	58	108	136	152	130	105	107	128	104	105
営業利益率 (%)	3.9	6.2	7.1	7.5	6.5	5.1	4.9	5.6	5.0	4.9
経常利益	64	114	143	155	132	107	104	123	111	118
親会社株主に帰属する 当期純利益	113	74	91	102	89	70	69	73	54	69
受注残高	661	1,072	1,187	1,245	1,327	1,561	1,773	1,719	1,616	2,103
海外売上高	304	360	456	481	430	425	428	432	271	310
有利子負債	80	60	41	20	1	0	498	575	545	522
自己資本	889	951	1,058	1,129	1,182	1,248	823	829	879	924
ROE (%)	13.6	8.1	9.1	9.4	7.7	5.8	6.8	8.9	6.4	7.7
ROIC※ (%)	3.9	6.8	8.3	9.1	7.7	6.0	5.8	6.5	5.1	5.1

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

業績の推移 セグメント別①

(単位：百万円)

セグメント	項目	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期
特装車	受注高	72,299	93,965	91,006	79,649	89,722	91,303	107,463	101,012	94,246	118,662
	売上高	65,826	77,328	84,775	87,462	89,304	90,317	92,333	94,627	94,777	97,190
	営業利益	3,774	5,009	6,929	6,748	8,348	6,313	6,544	6,802	6,707	5,354
	営業利益率 (%)	5.7	6.5	8.2	7.7	9.3	7.0	7.1	7.2	7.1	5.5
パーキングシステム	受注高	27,592	32,292	29,805	30,674	31,561	55,017	35,797	36,275	37,332	38,133
	売上高	27,194	28,301	27,440	29,359	31,145	31,979	33,863	37,805	35,228	38,099
	営業利益	1,474	899	1,330	1,814	1,850	1,780	2,343	3,223	3,228	3,066
	営業利益率 (%)	5.4	3.2	4.8	6.2	5.9	5.6	6.9	8.5	9.2	8.0
産機・環境システム	受注高	25,031	26,712	28,583	31,899	29,209	30,424	38,533	42,685	36,980	37,052
	売上高	23,287	24,371	27,928	30,155	29,451	30,099	33,810	38,370	37,195	25,560
	営業利益	1,272	2,037	1,878	1,985	2,219	2,468	2,474	2,748	2,989	1,724
	営業利益率 (%)	5.5	8.4	6.7	6.6	7.5	8.2	7.3	7.2	8.0	6.7

※ 23.3期1Qより報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

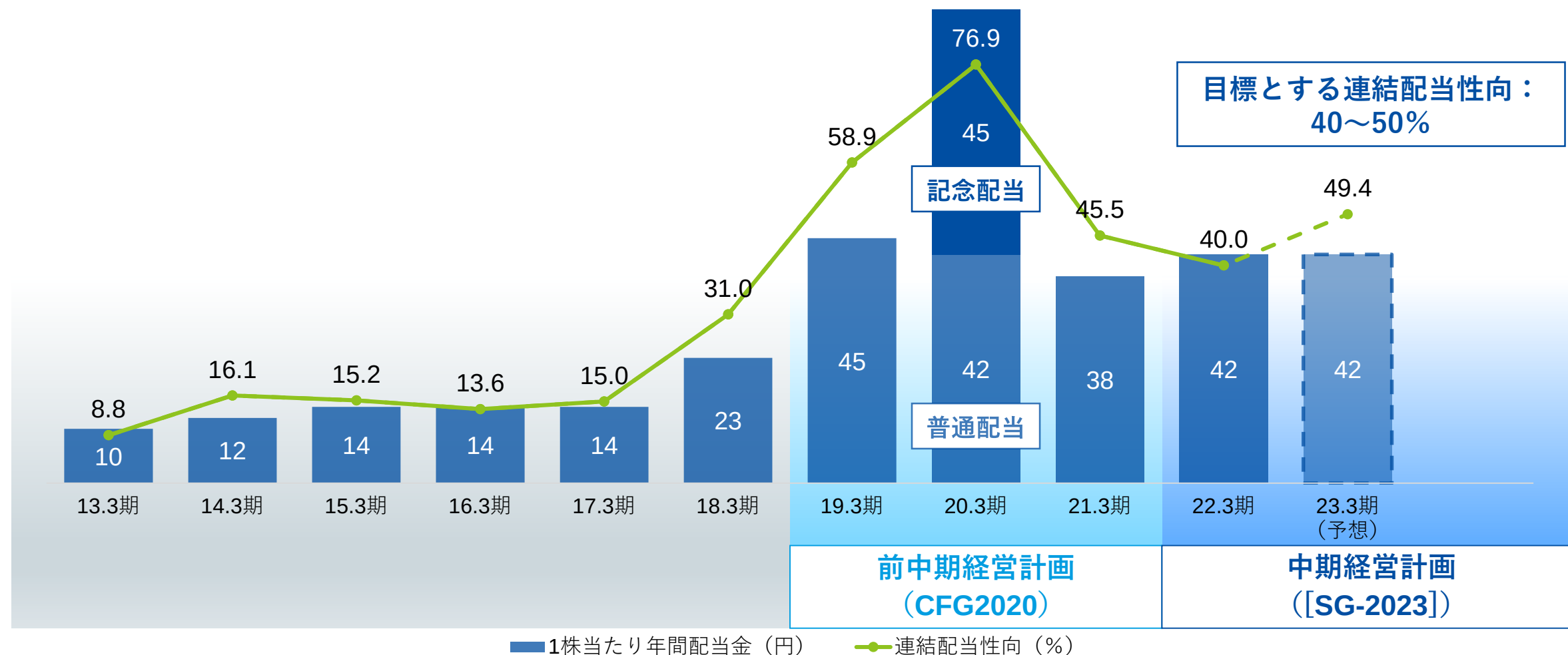
業績の推移 セグメント別②

(単位：百万円)

セグメント	項目	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期
流体	受注高	22,130									
	売上高	20,787									
	営業利益	3,151									
	営業利益率 (%)										15.2
航空機	受注高	29,740	52,556	44,068	55,502	43,741	40,803	35,772	30,393	13,378	31,711
	売上高	26,123	34,067	41,143	47,262	39,028	40,699	43,635	38,950	25,957	19,137
	営業利益	1,360	4,665	5,263	6,546	2,000	1,368	649	1,551	△808	△875
	営業利益率 (%)	5.2	13.7	12.8	13.9	5.1	3.4	1.5	4.0	△3.1	△4.6
その他	受注高	10,589	9,338	10,505	12,340	15,498	13,005	20,336	11,511	17,371	15,472
	売上高	8,486	9,941	11,843	9,677	12,274	14,239	13,654	17,476	16,066	16,047
	営業利益	285	318	439	796	960	1,049	1,037	1,193	1,445	955
	営業利益率 (%)	3.4	3.2	3.7	8.2	7.8	7.4	7.6	6.8	9.0	6.0

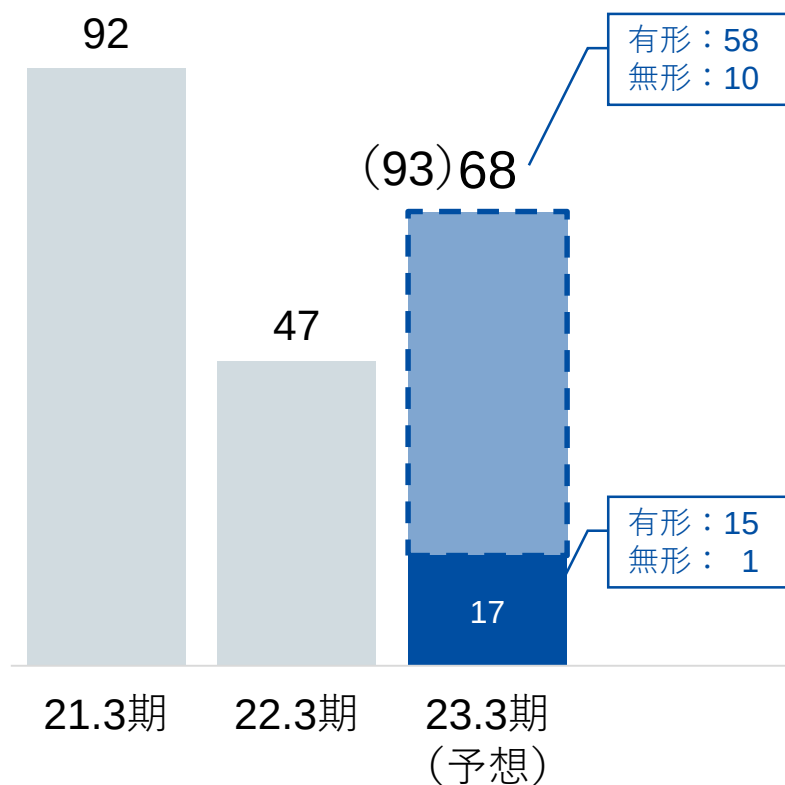
※ 23.3期1Qより報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

1株当たり配当金と連結配当性向の推移



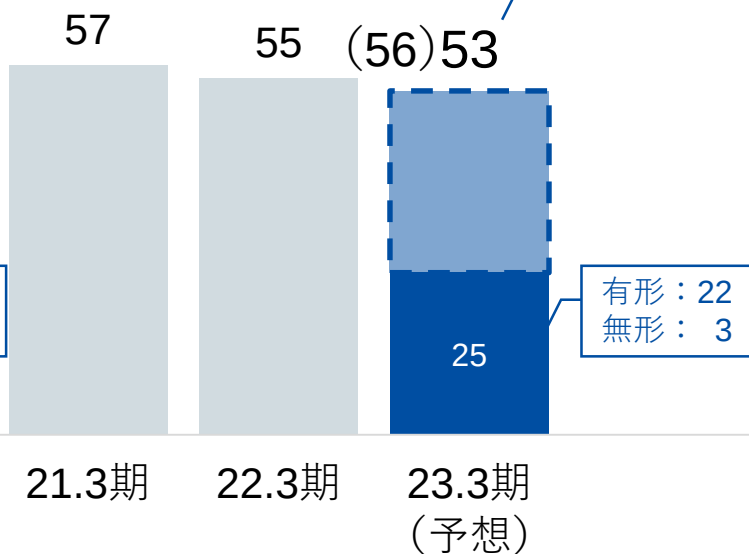
設備投資額 (単位：億円)

※ 下段：2Q実績
()：前回公表値



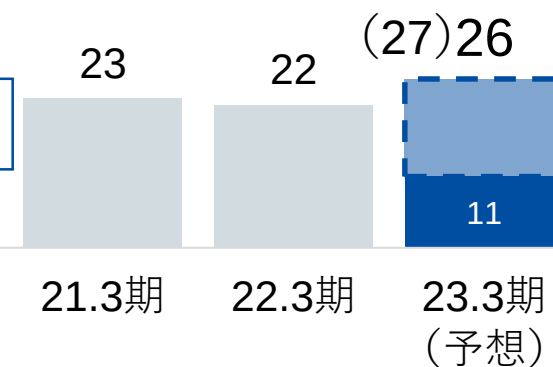
減価償却費 (単位：億円)

※ 下段：2Q実績
()：前回公表値



研究開発費 (単位：億円)

※ 下段：2Q実績
()：前回公表値



海外売上高 セグメント別

(単位：億円)

	特装車			パーキングシステム			産機・環境システム			流体			航空機			その他			合計		
	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減
日本	467	408	△58	168	167	△0	46	50	+4	54	59	+5	61	61	+0	75	63	△12	872	812	△60
アジア	4	10	+5	9	15	+5	41	59	+17	3	19	+15	—	—	—	—	—	—	60	104	+44
北米	0	0	△0	—	—	—	5	10	+4	3	4	+1	38	48	+9	—	—	—	47	63	+15
その他	11	17	+6	—	—	—	7	33	+25	0	2	+2	2	5	+3	—	—	—	22	59	+37
売上高 合計	483	437	△46	178	183	+5	101	154	+52	62	87	+24	101	115	+13	75	63	△12	1,002	1,040	+37
海外売上高 比率 (%)	3.4	6.5	+3.1 pt	5.5	8.3	+2.8 pt	54.2	67.1	+12.9 pt	12.7	31.3	+18.6 pt	40.1	46.3	+6.2 pt	0	0	—	13.0	21.9	+8.9 pt

2022年7-10月 ニュースリリース一覧（事業・製品）

- 2022年7月 [コミュニケーションツール「新明和スマートコネクト」 対象製品を拡大](#)
- 2022年7月 [リサイクルCFRP（炭素繊維強化プラスチック）を用いた流体製品を試作（流体サイト）（航空機サイト）](#)
- 2022年7月 [日刊工業新聞に「新明和、CFRP再生 産機に再利用 富士加飾と新技術」の記事が掲載されました（流体サイト）（航空機サイト）](#)
- 2022年8月 [WOTA株式会社への投資を決定・実施](#)
- 2022年8月 [積荷搬送装置付運搬車「スライドデッキ」の新モデルを発売](#)
- 2022年9月 [テールゲートリフタ用オプション「ほたるランプ」を発売](#)
- 2022年9月 [「すいちょくゲート®・サイドタイプ」の新型モデルを発売](#)
- 2022年9月 [無人飛行艇「XU-M」が初飛行に成功](#)
- 2022年9月 [機械式駐車設備 操作支援ツール「新明和パーキングサポートアプリ『Spasa』」を開発](#)
- 2022年9月 [日刊工業新聞に昇降式駐車設備 AI活用に関する記事が掲載されました](#)
- 2022年9月 [ヤマハ発動機と新明和工業が小型航空機の初期飛行試験を実施](#)
- 2022年10月 [「宝塚市新ごみ処理施設等整備・運営事業」を受注](#)
- 2022年10月 [日刊工業新聞にごみ処理施設等整備・運営事業に関する記事が掲載されました](#)

IRメール配信サービスご登録のお願い

IR情報



IRトピックス

- 2022年8月10日 「四半期報告書（第1四半期）」を掲載しました [PDF/75.2 KB]
- 2022年7月29日 「2023年3月期第1四半期決算短信」を掲載しました [PDF/251.0 KB]
- 2022年7月22日 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ [PDF/118.8 KB]

IRカレンダー

現在、日程が確定しているイベント等はありません。
スケジュール一覧 >

株価情報



経営方針

財務・業績

IR情報

- 経営方針 >
- IRニュース >
- 財務・業績 >
- IRライブラリー >
- IRカレンダー >
- 株式関連情報 >
- IR問い合わせ先 >
- IRリンク集 >
- ディスクロージャー・ポリシー >
- 免責事項 >
- 個人投資家の皆様へ >

新明和ってどんな会社？



当社の企業ニュースや財務活動をEメールでタイムリーにお知らせしています。

以下URLからアクセスできますので、ぜひご登録ください！

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=7224>

本資料は、新明和工業株式会社（以下「当社」といいます。）またはそのグループ会社（以下「当社グループ」といいます。）に関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報（以下「将来情報」といいます。）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社